

■お問い合わせ・お申込み先

旅のよろこび『九州自閉症協議会 第22回大会 in くまもと』係

〒861-5514 熊本市北区飛田 3-1-28 TEL：096-345-0811 FAX：096-345-0812（営業時間）月～金 9：00～18：00
今大会の宿泊に関しては「旅のよろこび」ではお取扱いしておりません。熊本県自閉症協会のホームページに、近隣ホテル等の名称が掲載されています。現在、熊本市内のホテルは、復興工事のため混みあっております。お早めにホテルの手配をされることをお奨めします。

■お申込み方法のご案内

- ◇下記お申込書に必要事項をご記入の上、「旅のよろこび」まで FAX、または郵送にてお申込みください。
基調講演の定員は300名、各分科会の定員は100名です。
- ◇定員になり次第、締め切らせていただきますのでお早めにお申込みください。
- ◇お手数をお掛けしますが、お一人ごとにお申込み、お支払いをお願い申し上げます。
- ◇申込書送付後の変更・取消の際は、必ず「旅のよろこび」にお電話又は FAX でご連絡ください。

■お支払方法のご案内

お申込みを受け次第、予約内容確認書及び請求書を FAX、または郵送いたします。
予約内容及び請求書を確認いただき、期日までに指定の銀行口座にお振込みをお願いします（指定銀行口座は請求書に記載されています。支払手数料はお客様にてご負担ください）。

平成29年度 九州自閉症協議会 第22回大会 in くまもと

申込書

申込締切：平成29年5月31日(水) FAX：096-345-0812

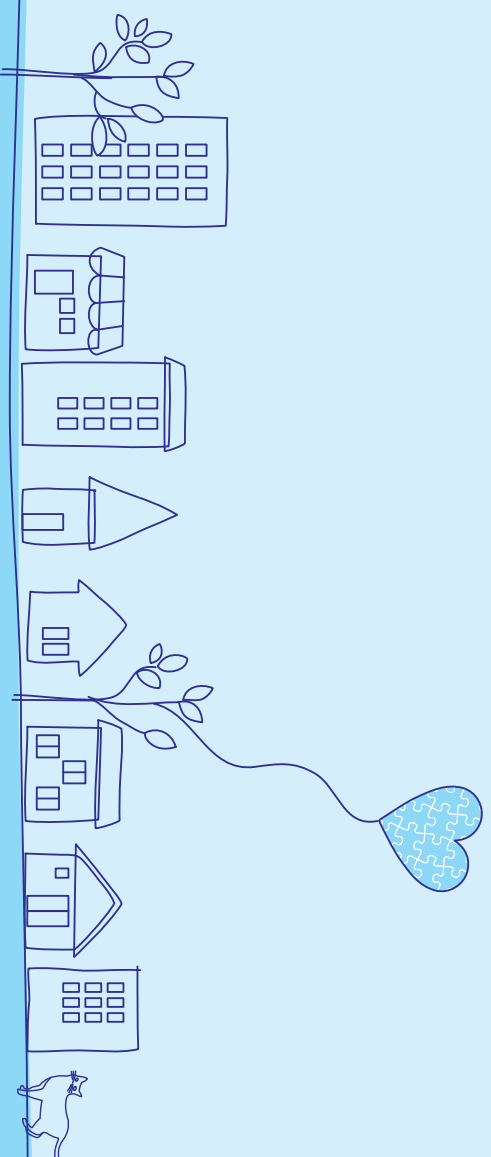
いずれかに○を付けてください
新規 ・ 変更 ・ 取消

〒 ご住所 (関係書類送付先)	TEL (日頃つながる番号)	
	FAX	
E-mail		
フリガナ	携帯番号	
参加者氏名	(日頃つながる番号) 必ずご記入ください	
所属	・ 家族 ・ 教育関係者 ・ 福祉関係者 ・ その他 ()	
	・ (県) 自閉症協会会員 ・ 会員外	
	※先着順です。第一希望が定員になった場合は第二希望となります。	
分科会の希望	第一希望	・ 分科会 1 ・ 分科会 2 ・ 分科会 3 ・ 参加しない
	第二希望	・ 分科会 1 ・ 分科会 2 ・ 分科会 3
	大会参加費	・ 一般 (参加費 3000円) ・ 学生 (参加費 1500円) ・ 高校生以下 (無料)
懇親会	・ 参加 (参加費 5000円)	・ 不参加
領収書	・ 要	・ 不要

※お子様を同伴する場合は、席の確保が必要ですので、熊本県自閉症協会へお問い合わせください。

※個人情報保護の取扱いについて

熊本県自閉症協会、及び「旅のよろこび」ではお預りしました個人情報は、「個人情報の保護に関する法律」並びに「当社個人情報保護方針」に基づき、漏洩、不正利用、改ざんなどのないよう適正な管理に努めます。
申込書に記載された個人情報については、お客様の連絡のために利用させて頂く他、手続きに必要な範囲で利用致します。



九州自閉症協議会 第22回大会 in くまもと
この街で暮らす、生きる～これからもずっと～

2017. 7. 1 Sat - 7. 2 Sun
メルパルク熊本

7月1日(土) 12:00 受付開始

- 基調講演「あの日が教えてくれたこと～明日への一歩～」
講師：内山登紀夫氏（よこはま発達クリニック院長、大正大学臨床心理学科教授）
- パネルディスカッション
内山登紀夫氏・榎孝行氏・田中恭子氏・坂口正浩氏・岡田稔久氏
- 懇親会

7月2日(日) 9:00 受付開始

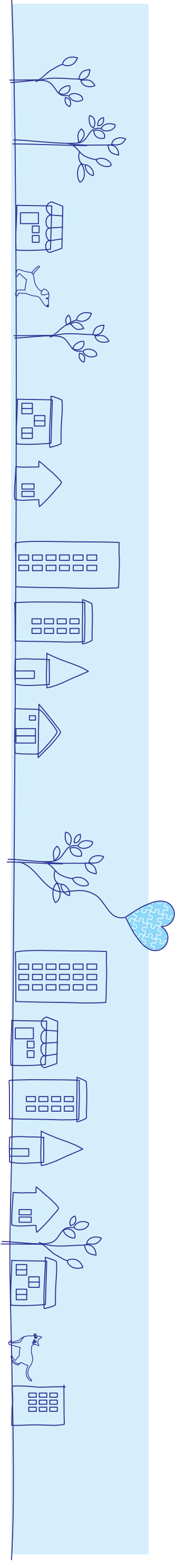
- 分科会1「家族を支える」 ●分科会2「地域で暮らす」 ●分科会3「社会で生きる」

ホテルメルパルク熊本 〒860-0844 熊本県熊本市中央区水道町 14-1
※講演内容や時間等については、今後変更となる可能性があります。

主催／九州自閉症協議会・熊本県自閉症協会
後援／熊本県、熊本市、熊本県教育委員会、熊本市教育委員会、熊本県社会福祉協議会、
熊本県社会福祉協議会、熊本県北部発達障がい者支援センター わつふる、熊本県南部
発達障がい者支援センター わるつ、熊本市発達障がい者支援センター みなわ、熊本
日日新聞社、NHK熊本放送局、RKK、TKU、KKT、KAB、FMK、FM791
お問い合わせ／熊本県自閉症協会
http://autism-kumamoto.stepserver.jp TEL 090-3320-5774



©2010
熊本県くまもと #K35534



九州自閉症協議会 第22回大会 inくまもと

マインテナー：この街で暮らす、生きる～これからもずっと～

九州自閉症協議会は（一社）日本自閉症協会に加盟する九州・沖縄各県の自閉症協会で構成されています。二年ごとに大会が開かれ、2017年度は熊本での開催となります。熊本地震に関連した基調講演およびパネルディスカッション、家族・地域・社会をテーマとした3つの分科会を開催します。自閉症や発達障害に関わる多くの方々の参加をお待ちしております。

開催日：2017年7月1日(土)、2日(日)

会場 所：ホテルメルヴィルク熊本 〒860-0844 熊本県熊本市中央区水道町 14-1

大会参加費：一般 3,000円、学生 1,500円、高校生以下無料

(1日みの参加でも金額は変わりません)

懇親会：5,000円

※本大会でのお子様のお預かり・余暇活動は、実施致しません。

7月1日(土)

12:00 受付開始 (メルヴィルク 2階)

- 13:00～13:30 開会式 (メルヴィルク 2階)

- 13:30～14:45 基調講演 (メルヴィルク 2階)

演題：あの日が教えてくれたこと～明日への一歩～

講師：内山 登紀夫 氏 (よこはま発達クリニック院長、大正大学臨床心理学教授)

子どもの精神医学を専攻しています。主に自閉スペクトラム症などの発達障害の診断や支援方法の臨床、研究、啓発に取り組んできました。東日本大震災後は福島の子どものメンタルヘルスに関する支援をしながら、状態を把握するための調査や地域の実情にあった支援方法の検討をしています。今回は、大規模災害などの緊急事態に対処する方法について、東日本大震災後の福島県における支援や調査で感じたことをお話しします。特に自閉症スペクトラムの子どもや家族に必要な支援はなにか？どのような備えが必要か？急性期の支援と、その後の支援のあり方の違いや、どのようなサポート体制が有効なのかについて焦点を当てます。

- 14:45～15:00 休憩

- 15:00～17:00 パネルディスカッション (メルヴィルク 2階)

熊本発達障がい者支援センターみなわの福孝行所長、発達障がい医療センターの田中恭子先生に、熊本地震における障がいのある方やご家族への福祉的・医療的ケアについて講演して頂きます。その後、災害弱者一人ひとりに寄り添い、穏やかな日常の暮らしをどのように取り戻していくのか、平時にこそ必要な取り組みとは何か、などについてパネリストの方々に語って頂きます。

パネリスト：内山 登紀夫 氏 (前掲)

幅 孝行 氏 (熊本発達障がい者支援センター みなわ所長)

熊本県内の特別支援学校に30数年間勤務。その間に、多くの自閉症スペクトラムの子ども達と出会い、退職後、熊本発達障がい者福祉センター希望荘で自立支援活動に従事。平成27年より現在のみなわで相談支援や就労支援を行っています。

田中 恭子 氏 (熊本大学医学部附属病院 熊本県発達障がい医療センター 特任助教)

児童精神科医として肥前精神医療センター、益城病院などでの勤務を経て、現在熊本大学医学部神経精神科特任助教として勤務。平成17～18年にはノースカロライナ大学 TEACCH 部へ留学。平成26年より熊本県発達障がい医療センターの任務にあっています。

坂口 正浩 (熊本県自閉症協会 会長)

コーディネーター：岡田 稔久 (日本自閉症協会 副会長、くまもと発達クリニック院長)

- 18:00～20:30 懇親会 (メルヴィルク 3階 中岳)

同ホテルにて18時より、懇親会を開催します。熊本の郷土料理と地酒をご堪能いただき、この機会に皆様の親睦を深めていただきたいと思ひます。スナージでの余興も準備中です。ぜひお楽しみください。

7月2日(日)

9:00 受付開始 (メルヴィルク 2階 各分科会の入口)

- 9:30～11:15 分科会 1 (メルヴィルク 2階 有明)

テーマ：「家族を支える」

「家族」という視点から、支援のあり方について考えてみたいと思います。一門先生と小田先生を講師にお招きし、それぞれのお立場からこれまで取り組んでこられた家族支援活動についてお話を伺います。さらに「これから求められる家族支援とは」について会場の皆様と一緒に考えていきます。

講師：一門 恵子 氏 (九州ルーテル学院大学 名誉教授)

小田 浩三 氏 (熊本県立荒尾支援学校 巡回相談員)

コーディネーター：坂口 正浩 (熊本県自閉症協会 会長)

- 9:30～11:15 分科会 2 (メルヴィルク 2階 立田)

テーマ：「地域で暮らす」

熊本地震では「日頃からの地域での関わり合い」の大切さが再確認されました。中山氏と北村氏を講師にお招きし、自閉症のお子様達の保護者の立場と、地域で福祉・自治活動に取り組み立場で、これまでの経験等を通して感じた思いや提言等を忌憚なく語って頂きます。さらに、日々の暮らしの中で大事にしたいこと等について、会場の皆様全員と考えていきます。

講師：中山 龍也 氏 (保護者、熊本県立ひのくに高等支援学校 校長)

北村 直登 氏 (一新校区社会福祉協議会 会長、児童養護施設藤崎台童園 園長)

コーディネーター：松村 和彦 (熊本県自閉症協会 副会長)

- 9:30～11:15 分科会 3 (メルヴィルク 2階 金峰)

テーマ：「社会で生きる」

発達障がい者の積極的な雇用に携わる森下氏と、障がい者の就労支援に取り組んでこられた田島氏を講師にお招きし、発達障がい者の特性に配慮した働く環境作りや、継続して働くためのポイントなどについてお話し頂きます。就労を目指す方だけでなく、自閉症や発達障害に関わるあらゆる方に参加頂き、発達障がい者が社会の中で生きるために必要なことを、皆様と考えていきます。

講師：森下 勝也 氏 (株式会社総合プラント 事業本部 部長)

田島 淨嗣 氏 (元熊本障害者職業センター 所長)

コーディネーター：村上 祐治 (熊本県自閉症協会 副会長)

- 11:30～12:00 閉会式 (メルヴィルク 2階)

本大会の総括を行い、次回大会開催予定の長崎県よりご挨拶をいただく予定です。

※ 本案内中の講師の氏名および所属、肩書き等については、2017年2月現在のものです。変更の可能性があることをご了承くださいますようお願いいたします。

※ 内容に関する問い合わせは、熊本県自閉症協会事務局まで。

メール：autism.kumamoto@gmail.com TEL:090-3320-5774 FAX:096-300-3015

※ 申し込みは、本チラシ裏面の申し込み用紙によりFAXまたは郵送で「旅のよろこび」までお申し込みください。

※ 閉会式後にお楽しみ抽選会があります。また、受付にてグッズ販売を行う予定です。